



# 環境公共 通信



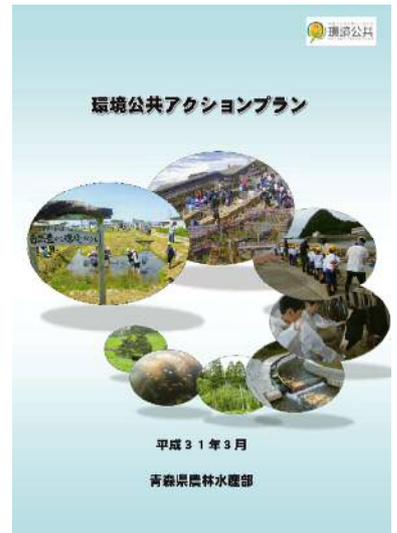
第42号 令和元年6月  
発行／環境公共推進会議事務局  
〒030-8570 青森市長島1-1-1  
青森県農林水産部農村整備課内  
TEL 017(734)9545 FAX 017(734)8153

## ■最近の話題

### 「環境公共アクションプラン」を改訂しました

環境公共アクションプランは、平成20年2月に策定した「あおり環境公共推進基本方針」（以下、基本方針とする）に基づき、「環境公共」を実施するに当たって、県、市町村、関係団体、農林漁業者、地域住民などの関係者が取り組む行動計画です。県では、このアクションプランに基づき、関係者の連携を強化しながら、山・川・海をつなぐ「水循環システム」の再生・保全を図り、「攻めの農林水産業」を推進します。

これまでの10年間は、平成21年2月、平成26年2月に策定された2つのアクションプランをベースに「環境公共」の取組を進めてきました。これまでのアクションプランでは、基本方針に示す「3つの方向性」に沿って取り組むとともに、指標として評価してきたところですが、新アクションプランでは、この10年間の実績や課題を踏まえ、これまでの指標であった基本方針の「3つの方向性」から目指すべき本来の「3つの目標」にシフトして取組を評価していくこととしました。また、これまで評価指標の1つであった「農・林・水の連携」については、各事業実施地区のみでの取組が大半であったことから、より広域的な連携の強化を推進していくこととしています。



「新アクションプラン」

【環境公共アクションプラン】<http://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/agri/kankyokoukyou.html>

## 環境公共の基本的な方向

### 3つの方向性

地域力の再生(新たな「結び」)

強固な農・林・水の連携

環境への配慮から保全・再生へ

### 5つの理念

柔軟で開かれた  
合意形成・事業実施

自らの発意・参加・  
活動の誘発・促進

過度の経済性・  
効率性からの脱却

過度の分業・  
外部化の是正

地場の資源、技術、  
人財の活用

### 3つの目標

農林水産業が支える  
自然・景観・文化の保全・継承

持続可能で循環型の  
農林水産業の実現

地球環境問題への貢献

「あおり環境公共推進基本方針」で示されている環境公共の基本的な方向

## ■「環境公共」事例紹介

### 土場川地区(上北郡東北町・上北郡七戸町)

#### 1 地区の概要



本地区は、青森県東部を流れる七戸川のほとり「宝湖」とも呼ばれる小川原湖に接する484haの水田地帯です。かつては湖沼と湿地が広がっていましたが、昭和30年代に10a～30a区画で開田されました。しかし、水路は用排兼用の土水路が大半を占めており、現状において水管理や維持管理に多大な労力を要し、また、水はけが悪く野菜を生産するなど転作に向かなかったことから、平成27年度より上北地域県

民局地域農林水産部において、県営土場川地区経営体育成基盤整備事業（ほ場整備事業）により区画整理や暗渠排水の整備、老朽化した揚排水機場の改修をすすめています。

#### 2 小川原湖の水環境保全

小川原湖周辺では、同湖の水環境を保全・継承する取組みが活発に行われています。

近隣の甲地小学校など数多くの小学校では、土場川土地改良区や地元多面的機能支払組織の企画・支援のもと、土場川地区の未整備エリアをフィールドとした水辺の生物調査や生物の生息空間（ビオトープ）づくりなどの環境教育を実践しており、次世代の地域の担い手への小川原湖とその周辺の豊かな水環境の保全・継承に貢献しています。具体的な取り組みとしては、水田周辺の水辺環境に生息する生物について調査し理解を深める活動や、ほ場整備実施範囲にある水路から生物を保護し地区外のビオトープに放流する活動などを行っています。

このほか、「企業の森」の趣旨に協賛する企業が小川原湖に注ぐ河川の上流側に植林しきれいな水をかん養する活動を行っているほか、行政が小川原湖流域で営まれる畜産業者に働きかけ畜産系汚水発生抑制に資するため堆肥舎の整備を推進しているなど、多様なかわりのなか小川原湖の水環境の保全に向け熱心な取組みが展開されています。

#### 3 高収益作物の導入

ほ場整備事業によりほ場の中に暗渠排水管を設置することで地下水位を下げるができるようになることから、事業をきっかけにして、地区内の農家に生産単価の高いニンニクやタマネギといった高収益作物を導入するよう促し、農家所得が向上することを目指しています。

土場川地区関係農家の一部では、県が案内したタマネギ生産の先進地視察に参加し見聞を広めるなど、意欲的な動きが見られ、県も引き続き支援していきます。



土場川の生き物について発表する児童



タマネギ生産先進地視察（長崎県）